

足利風 -ashikaga-fu

2017
10月号
Vol. 52



画：中山 キッコ

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

「馥郁たるワインの香りとともに・・・」

2011年11月6日、東日本大震災被災地岩手・陸前高田の小高い丘にある寺院の斜面に私の目の前で、1本の河津桜が植えられた。～私たちは悔しいんです。次の時代が、この悔しさを繰り返すことのないように、今回の津波の到達点を桜の木でつなぎ、後世に伝えたいと思います！～東日本大震災復興プロジェクトの象徴と言われている“桜ライン311”は、こうして始まった。

その陸前高田で、壊滅的な打撃を受けた老舗のワイナリーの再興を手掛けた一人の足利生まれの醸造家がいる、増子敬公(ますこ・よしひろ)さん。ワイナリーづくりで世界を飛び回った。また、足利の“こころみ学園のワイナリー”のココ・ワインを生み出したのも増子さんだ。その増子さんが、生業のラムネ工場の中に日本一小さいワイナリーを創って数年。今年、国際ワインコンクール“サクラアワード”で最高賞ダブルゴールドに輝いた。その馥郁たるワインの味は、造り手の人柄をまさに醸し出している・・・と言える。



レバノンの詩人・ジブラーンは“預言者”の中で、このように語っている

～あなた方が大地の香りで生きることができ、空気と光で身を養っている植物のように生きることができるとよいのだが。けれどもあなた方は食べるために殺し、渴きを癒すために、生まれたばかりの子どもを盗まなければ

ならない。だからその償いを祈りという行為であらわしなさい・・・秋にあなた方の葡萄(ぶどう)園から葡萄を集めて、圧搾機にかける時には、心の中で言いなさい。「私もまた葡萄園であり、私の果物も圧搾機にかけるために集められるだろう。そして新しいワインのように、永遠の壺に保存されるであろう。冬にワインを取り出す時には、あなたの心の中で杯につぐごとに、心の中で歌いなさい。そしてその歌の中に、秋の日々や葡萄園や圧搾機の思い出を歌い込むのだ。～

(M生)

好評！ まちの縁側(読書サロン)

まちの縁側(読書サロン)5月19日(金)午後は、20名を超える多彩な参加者で熱気溢れるサロンとなりました。木村 寛さんの辛酸極まる実体験を交えての「運命を拓く～天風瞑想録」解説となりました。～人間の健康も運命も心一つの置きどころ～心とは真・善・美～病は忘れることによって治る～怒らず・怖れず・悲しまず、積極的に快活に生きること・・・などなど、それぞれの方々の生きざまを織り込みながらの素敵な心温まる“まちの縁側”となりました。木村さん、参加者のみなさん、ありがとうございました。

* 癒しの音色ケーナで被災地をつなぐ *

～ ケーナ奏者Ren ～



私は5歳からピアノ教育を受けました。足利高校を経て筑波大学に入り、在学中に聴いたケーナの音色に心うたれ、ケーナのとりこになりました。大学院修了時に、ケーナのふるさと南米を旅しました。その後、足利の中学校で教師となりましたが、どうしてもケーナへの想いが断ちがたく、2008年4月にケーナ奏者としてプロに転向し本格的な演奏活動に入りました。おかげさまで、各地で演奏活動を続け、その間、数枚のアルバムも発売できました。

2014年、加藤登紀子さんのコンサートに参加しました。それがご縁で、足利の書家・相田みつをさんが亡くなる前に、加藤登紀子さんのコンサートを足利のお寺で…との



お約束があったことを知りました。お寺は鑢阿寺。

そして、本当に数多くのおみなさんのおかげで、2015年9月に“伝説のコンサート”が実現しました。

国宝鑢阿寺を背景に夕闇の中、幻想的に浮かび上がったステージでの加藤登紀子さんとの共演は今でも夢のような想いがしています。

2011年3月の東日本大震災で被災された方々には心からのお見舞いの気持ちを直後から持っていました。が、現地に赴くこともままならず無念の思いをどうすることも出来ずにいたところ、思いがけず、ご縁のある「がんばろう東北！」応援プロジェクト足利風(鈴木光尚代表)を通じて、被災地へのご支援ができることになりました。感謝です。特に、宮城・山元町の被災者支援FM“りんごラジオ”では、私のCDを流し続けていただきました。視聴者から「ケーナの音色に癒されました」との反響もあった、とのことで少しはお役に立てたと安心しました。また、熊本地震では、全国青年団協議会とのご縁もいただき、支援をさせていただいております。これからは、演奏活動のステップアップに努めるとともに、CSR(社会貢献活動)も続けて行く覚悟です。今後とも尚一層のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

* 足利マジックサークル「マジックは、脳トレに最適！」*

マジック(手品)は、頭で考えながら、指先を動かすので、脳トレに良いそうです。

スポーツの苦手な方、人前で話すのが苦手な方もいかがですか？まずは、身近なものを使って、簡単なマジックから始めます。(ハンカチ、コイン、ティッシュ、割りばし、紙ひも、トランプ等)

不思議な世界への第一歩、ぜひ一度見学においで下さい。

足利マジックサークル代表 新貝正勝 TEL0284-41-8708(野口方)

① インフォメーション ①

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。
どうぞ、お気軽にご参加ください。

★10月20日（金） 2：00pm～4：00pm

* 本 : 「100年前の女の子」（船曳由美）

*案内人 : 石川博右 さん

*ひとこと : 足利郡筑波村高松に生まれ、生後間もなく里子に出された寺崎
テイさん。これは、かつて日本のどこにでもあった、心豊かな、
昔懐かしい生活、そして自然の中で健気に生きた少女の物語で
す。飾らない人々の中で、また学校を何よりも愛した姿は、忘
れかけている何かを、今、私たちに思い出させてくれます。

★11月17日（金） 2：00pm～4：00pm

* 本 : 「原 節子の真実」（石井妙子著）

*案内人 : 長 太三 さん

*ひとこと : 女優・原 節子は、「伝説の女優」とも言われている。本書のタ
イトル「原 節子の真実」の真実とは何か？ 2015年9月、
*95歳で亡くなった女優・原 節子～本名・会田昌江～の生涯
を本書からたどり、その真実に迫ることができるか・・・？！

■会場:足利市民活動センター ■参加費:無料

■お問い合わせ・事務局:足利市民活動センター ☎44-7311

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 10月・11月のご案内 ～

- | | |
|----------------------|-------------------|
| * 粹で “いなせ” な半纏の美 展 | 10/ 2(月)～10/12(木) |
| * 足利絵手紙の会作品 展 | 10/16(月)～10/26(木) |
| * 2017 土と布・炎と織・器と衣 展 | 10/30(月)～11/ 9(木) |
| * イラスト原画 展 | 11/13(月)～11/22(水) |
| * 川島直人水彩画 展 | 11/27(月)～12/ 7(木) |

☆相談室&講座のご案内

* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

* 講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

* 編集後記 *

市民活動センターでセグロセキレイが卵を産んだ。親鳥が怯えないように毎日そーっと
見守り続けること約1カ月。まるでわが子のように愛おしく感じ始めたころ、巣立って行って
しまった。何とも言えない喪失感だが、元気で羽ばたいていてくれたらと思う。(しおぱん)